

## 令和3(2021)年度 社会福祉法人ひかり福祉会 事業計画

はじめに

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の主な論点は以下の通りであった。

1. 障害者の重度化・高齢化を踏まえた障害者の地域移行・地域生活の支援等
2. 効果的な就労支援や障害児者のきめ細やかなニーズを踏まえた対応
3. 医療的ケア児への支援などの障害児支援の推進
4. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進
5. 災害や感染症の発生時も含めた支援の継続を見据えた対応
6. 障害福祉サービス等の持続可能性の確保と適切なサービス提供を行うための報酬等の見直し

昨年度の事業報告でも記述した通りに、障害・高齢を対象とした福祉サービスの提供に、最適で安定かつ持続することをテーマに今後も国で制度設計がなされるだろうと考える。一方、地方自治体では、家庭基盤なき後の障害者や高齢者の暮らしの場の施設整備を、法人格のある民間団体や企業にお願いしていくスタイルが変わらずとられるだろうと思う。上記の主な論点の6こそが、社会福祉法人を経営する者として、押さえなければならない点と考える。安定供給は、圏域範囲での社会資源数や人員数と、サービスを受ける顧客とのバランスを予測していくことで図られるものと思う。湖北・湖東圏域のなかで事業推進していくにあたっては、他法人機関との連携は必須であり、最適解なサービス供給に圏域で調整することも必要となると考える。

### 令和3(2021)年度 方針について

- ① すべての人がこの職場で働けてよかった！と胸を張って言えるようにする。
  - ・ 仕事環境の充実においては、障害あるないに関係のない、人の尊厳が守れる創造をする。
  - ・ 事業所で働く人それぞれに役割分担がなされて、やりがいある仕事ができるようにする。  
⇒管理職、指導職(主任)、支援者等 階層別に充実できるよう考える。  
プレイングマネージャーは排除する3か年計画の初年度と位置付ける。
- ② すべての人が暮らしの主体者になれる生活支援を追求する。
  - ・ ここで暮らしてみたいという住環境追求をする。
  - ・ 現状のグループホームの実態を語りみんなで共有する。
- ③ 人の育成と人事を考える部門を創設する。
  - ・ 経営をしっかりと考えられる管理職育成を目指す。  
⇒経営理念最終セッションを披露して一般職員と共有する。
  - ・ 人事を考える部門は各事業所管理職と職場状況把握を普段から図る。

- ・資格取得応援制度の積極的な活用を今後も呼びかける。
- ・研修を企画して実施する部門を作り運営する。  
⇒管理職、指導職（主任）、支援者等 階層別に検討する。

令和3（2021）年度 重点課題とする事柄について

（1）事業再編計画の立案と実施

今年度中に、障害の重度化に伴う、事業再編を行う必要性のある事業については早急に対応する。

（工房ふれっしゅ）

（2）施設整備計画の検討

施設整備の必要性のある事業所においては、安定したサービス供給を見通しながら、地域の障害ある人のサービスニーズをしっかりと把握できるようにする。

また必要な施設整備における計画を検討していく。

（たんぼぼ作業所）

（3）職場環境の整備

支援者労働環境整備の必要性のある職場においては、十分な計画立案と必要性を根拠に対応する。

（支援センターそら）

（4）米原“蛍の家ホーム”増築 or 敷地内新築整備（法人内湖北圏域内ホームの移転整備）について

整備事業としては令和4（2022）年度実施できる助成金申請と行政への働きかけをする。

（米原“蛍の家”ホーム）

（5）新型コロナウイルス感染症対策の継続

感染拡大防止に係る対策立案と実施に努める。

（新型コロナウイルス感染症対策室）

\*その他 各事業所事業計画を参考にする。

【日中支援事業所（長浜地域）】

ひかり園（B型）、ひかり・輝湖里（介護）、ひので作業所、友愛ハウス・ワークセンター絆

【日中支援事業所（彦根地域）】

セルフひこね、たんぼぼ作業所、工房ふれっしゅ・彦華堂（出張所）、HEART WORK 結（すこやか・あんしんセンター明日香;職業訓練課）

【相談支援事業所】

障害者支援センターそら（長浜）、働き・暮らしコトー支援センター（すこやか・あんしんセンター明日香；雇用支援課）、相談支援センターあおい（すこやか・あんしんセンター明日香；福祉相談課）

【総合生活支援事業】

ヘルプもあ（すこやか・あんしんセンター明日香；地域生活支援課）

彦根地域グループホーム統括（すこやか・あんしんセンター明日香；居宅課）